

# 水道事業会計予算概要

## 業務の予定量

給水人口	144,400人
給水戸数	68,300戸
年間総給水量	15,923,000m <sup>3</sup>
1日平均給水量	43,625m <sup>3</sup>
1人1日平均給水量	302ℓ



## 安全・安心な水をお届けするために

朝霞市水道事業では、いつでも安全で安心して使える水道水を安定的にお届けするため、今年度も引き続き浄水場設備の更新、水道管の耐震化及び老朽管の更新事業を進めてまいります。

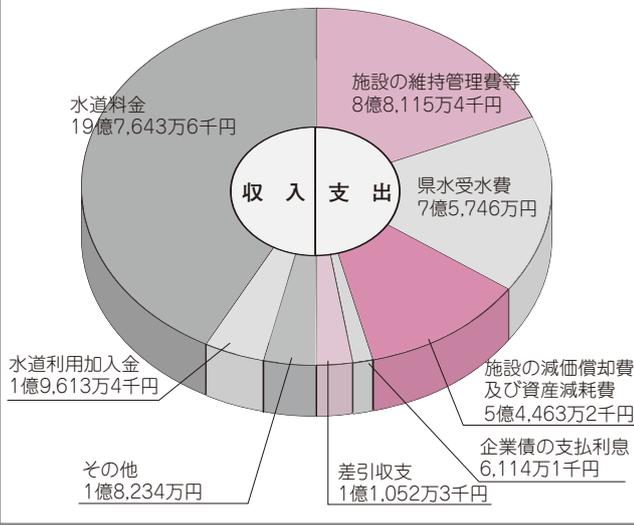
今後も厳しい経営状況が見込まれますが、将来にわたって安定的に水道事業を継続していくために、市民生活にとって重要なライフラインである水道施設を適切に維持するとともに、効率的な経営に努めてまいります。

☎/上下水道総務課 ☎462-3366

## 収益的収支

事業経営に伴う  
収入と支出

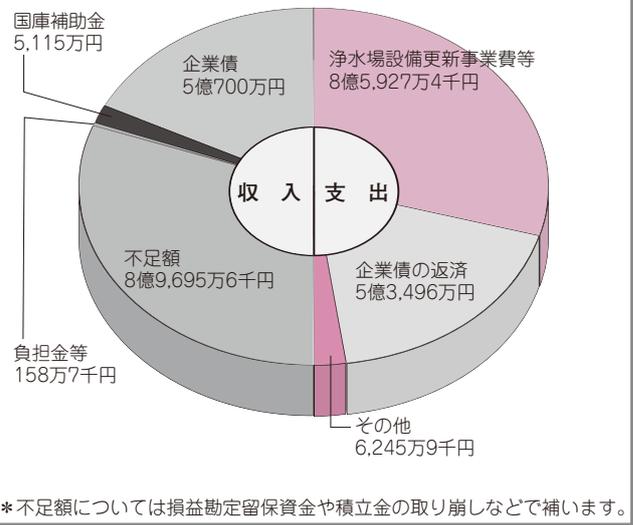
収入 23億5,491万円  
支出 22億4,438万7千円



## 資本的収支

施設の改良事業に  
要する収入と支出

収入 5億5,973万7千円  
支出 14億5,669万3千円



\*不足額については損益勘定留保資金や積立金の取り崩しなどで補います。

## 経営状況

水道事業は独立採算制で、事業費は利用者の皆さんからいただく水道料金によって賄われています。

本年度予算では、1m<sup>3</sup>の水を皆さんにお届けする費用(給水原価・税抜)135円68銭に対して、水道料金(供給単価・税抜)は124円で11円68銭の赤字となり、不足額を水道利用加入金などの収入で補うこととしています。

このほか、本年度も浄水場設備及び老朽管の更新や、管路の耐震化など、多額の費用を要する事業を実施しなければならないため、企業債(5億700万円程度)を起こす予定です。

厳しい財政状況が続きますが、朝霞市水道事業経営戦略に基づき、財政状況等を確認し、次世代に過重な負担を強いることがないよう事業運営に努めてまいります。

## 主な事業

本年度も水道水の安定供給を確保するため、次の事業を進めてまいります。 ☎/水道施設課 ☎463-8699

- 水道施設耐震化事業  
地震災害時における水の安定供給のため、配水本管の耐震化を実施します。
- 老朽管更新事業  
布設年度や重要度を考慮し、老朽化した水道管の更新を実施します。
- 漏水の防止  
貴重な水を効率よくお届けするため、水道管(水漏れ)の調査を実施します。

### 私道給水管布設替整備費補助金

私道内の給水管を布設替する方に、整備費用の3分の2以内を助成します(千円未満切り捨て)。

- 補助要件
  1. 対象戸数が3戸以上で、私道の土地所有者および給水管所有者全員の承諾が必要です。
  2. 出水不良および2本以上の給水管を1本にする整備工事とします。